



2026 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 ハリマ化成グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
(コード番号 4410 東証プライム)
問合せ先 上席執行役員
経理・財務グループ長 上辻 清隆
(TEL. 06-6201-2461)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2025 年 4 月 30 日に公表しました 2026 年 3 月期の通期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 業績予想の修正

2026 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期 純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	108,000	3,000	2,000	1,200	49.41 円
今 回 修 正 予 想 (B)	108,000	3,300	2,800	1,850	76.16 円
増 減 額 (B－A)	－	300	800	650	－
増 減 率 (%)	－	10.0	40.0	54.2	－
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	101,006	2,083	1,330	763	31.46 円

II. 修正の理由

売上高は、樹脂・化成品事業につきましては、塗料用樹脂の新製品拡販、電子材料事業につきましては、市況が好調による半導体レジスト用樹脂の増収により前回予想を上回る見込みとなりました。しかしながら、製紙用薬品事業につきましては、製品価格の低下により、国内、中国で、前回の予想を下回る見込みとなりました。ローター事業につきましては、欧米の景気回復の遅れにより売上数量が伸びず、前回予想を下回る見込みとなりました。全体としては、前回予想並みとなる見込みとなりました。

営業利益は、樹脂・化成品事業の増収、製紙用薬品事業の米国での増収により、前回予想を上回る見込みとなりました。

経常利益は、営業利益、持分法による投資利益の増加、親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益、経常利益増加により、前回の予想を上回る見込みとなりました。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上